



みんなのふ



雪の下キャベツの収穫体験（1月13日／吉田 彰さん圃場／美唄市光珠内下中の沢）

■発行日/平成30年2月1日/No.1390号

■発 行/峰延農業協同組合

〒079-0192 美唄市字峰延37番地

Tel 0126(67)2111 Fax 0126(67)2793

ホームページアドレス <http://www.ja-minenobu.or.jp/>

■編 集/総務課 ■印刷/空知印刷株式会社

J A 女性部懇談会・新年会開催

1月22日、JA女性部（吉村俊子部長）の平成29年度懇談会がJA三階会議室で開催されました。女性部員14名が出席し、JAから伊藤専務と山本理事（生活店舗店長）が出席しました。

懇談会では、女性部に対する今後の展望について、山本理事からは現在行っている「軽トラ市」の取り組みについて説明がありました。

その後、女性部員で懇談を行い、平成29年度支部活動報告と女性部の事業報告、次年度の事業計画に



女性部の懇談会の様子



女性部の新年会の様子

1月臨時理事会開催

1月9日開催の臨時理事会において次の事項が協議されました。

◇協議事項◇

- 大豆施設新設について

-報徳-

禍福の根元

翁のことばに、禍福は二つ別々にあるものではない。元来一つのものだ。手近なところでたとえれ

三澤 ツルさん (99歳) 1月2日
佐々木一雄さん (88歳) 1月10日
高橋千代枝さん (61歳) 1月16日
美唄市東2条南3丁目3-1
美唄市光珠内町北
美唄市峰延町本町

おくやみ申し上げます

1月25日開催の第12回（1月定例）理事会において次の事項が決定されました。

◇付議事項◇

- 理事に対する平成30年度クミカン取引の貸越極度額等の設定について
- 理事が代表を務める法人の平成30年度クミカン取引の貸越極度額等の設定について
- Fin Tech企業等との連携及び協働に係る方針の決定について
- 定款の変更について
- 平成30年度内部監査計画について

懇談会終了後、女性部の新年会が行われ山本理事が参加、JAみねのぶ店の今後の展開について懇談が行われました。

おこやみ申し上げます

翁のことばに、禍福は二つ別々にあるものではない。元来一つのものだ。手近なところでたとえれば、庖丁でなすを切つたり大根を切つたりしていれば福だが、もし指を切れば禍だ。つまり柄を持つて物を切るか、誤つて指を切るかの相違だけなのだ。そもそも柄ばりあつて刃がなければ庖丁ではないし、刃があつても柄がなければ役には立たない。柄があり刃があれば禍といつても手前勝手なものではないか。水についても同様で、畦を立てて水を引けば田地が肥えて福になるし、畦なしで引けば肥料が流れて田地がやせ、言いしけれぬ禍になる。これも、畦があるかないかの相違だけで、もともと同一の水なのに、畦があれば福となり、畦がなければ禍となるのだ。また、富は人の求めるところのものだけれども、己のために求めるときは禍がついてくるし、世のために求めるときは禍がついてくるし、世のため財宝も同様で、積んで世のために散すれば福となるし、積んで散じなければ禍となるのだ。こういう道理は、誰でも心得ておかねばならない。（夜二七）

**雪の下キャベツの
収穫体験行なわれる**

1月13日、コーパさつぼろ組合員親子等による雪の下キャベツ収穫体験が行われました。

参加したのは、コーパさつぼろ組合員の6家族17名と大学生のEfy（NPO法人）8名、コーパさつぼろ組合員活動委員5名。生産者団体「カラフル」の代表吉田彰さん（光珠内下中の沢）の圃場で行われました。



子供達が交代で除雪のトラクターに乗りました



キャベツを傷つけないようにスコップで除雪

キヤベツが雪の下に埋まっている場所は周囲と見分けが付かない真つ白な雪原で、収穫体験は最初にトラクターで予め目印の棒を立てた辺りの雪を除雪するところから始まります。除雪のトラクターには子供達が交代で乗せてもらい大興奮でした。その後はスコップを使ってキヤベツに傷がつかないように慎重に除雪を行い徐々にキャベツの姿が見えてきました。宝探

しのように大人も子供も楽しそうでした。生産者の方からの説明には、雪は布団の役割を果たし、寒さからキヤベツを守っているとのことでキヤベツを掘り出すと中から湯気が出ていました。参加者から、雪の下キヤベツは甘味が増していると聞いているが糖度はどのくらいなのかと質問が出され、糖度10度ぐらいとの回答にみんな驚いていました。掘り出したキヤベツはずつしりと重く参加者が協力して一つずつ運搬車に積みました。運搬車の荷台が掘り出したキヤベツでいっぱいになつたところで納屋に移動し納屋の中で、粗選し根切り、テープ巻きの出荷直前までの一連の作業を体験しました。

10時半頃から始めた雪の下キヤベツの収穫作業体験が終了したのはお昼近くで、全員が車でJAに移動し三階で昼食タイムです。昼食メニューは、収穫体験で掘り出したキヤベツを使用したキヤベツとトマトのミルフィーユ風と減塩キヤベツとミルクの味噌汁、塩キヤベツを調理、雪の下で甘くなつたキヤベツを皆で美味しい



掘り出したキャベツを運搬車に積みます



雪の下からキャベツが出てきました



JA三階で昼食



粗選・根切りの後にキャベツに出荷用のテープ貼り

高橋たみ子さんから 善種金に推譲

高橋たみ子さんから、過日他界されたご主人（元副組合長理事・高橋榮一さん）が生前お世話になつた峰延農協と組合員の皆さんに感謝を申し上げますと善種金に3万円の推譲をお受けいたしました。

冬のちよきんキャンペーン

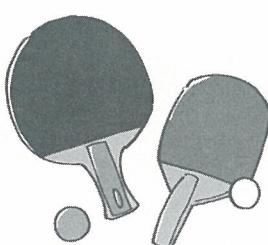
当選者発表

平成29年11月1日から12月29日の期間に実施した「冬のちよきんキャンペーン」は、新規預入10万円に1回の抽選チャンスが与えられ、当選者には購買券1万円分（当JA生活店舗限定）をプレゼンツするものです。抽選は1月19日に森川組合長を行い、当選された方は次の方々です。（順不同）

橋本昌宏さま、小松美津恵さま、工藤光雄さま、八田重忠さま、山本和良さま

J A女性部がサークル活動

J Aみねのぶ女性部（吉村俊子部長）では、農閑期となる12月から3月までサークル活動を行つて、今年も昨年と同じく「大豆加工」「ヨガ」「卓球」を行うことになりました。



卓球サークルの様子

女性部のサークル活動では、地域の皆さんと交流を深めながら楽しく活動を行つていただきたいと考えています。一緒に気持ちの良い汗を流して楽しみませんか。興味のある方、ぜひご参加下さい。

お問い合わせ JAみねのぶ販売企画課 女性部事務局

☎ 0126-167-2115



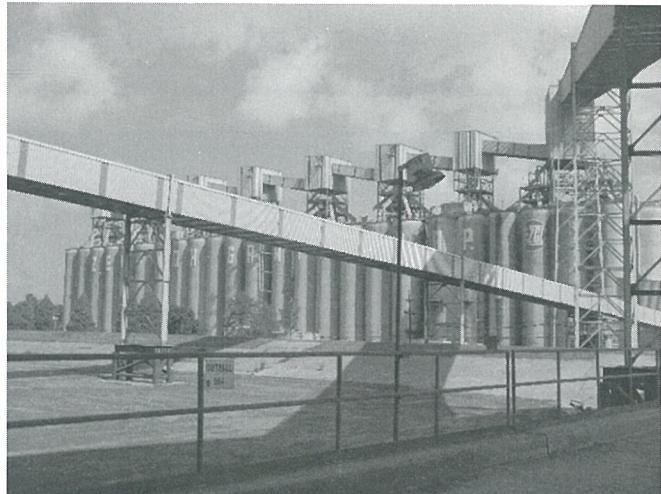
ヨガサークルの様子

大豆加工サークルはこれからスタートとなります。ヨガは毎週木曜日の午前10時30分から、卓球は毎週木曜日の午後1時30分からと毎週土曜日の午前10時から実施しています。今年も部員外の方も参加して下さり、雪の積もるこの時期は身体を動かすことが少ないでの、気持ちの良い汗を楽しみましょう。

【連載】今こそJA!～その意義と役割～

第10回 なぜ全農が狙われるのか?

全農グレインという会社をご存知でしょうか?全農(全国農業協同組合連合会)の子会社で、米国に拠点をおき、同じく子会社で集荷を行っているCGB社とともにとうもろこしなどの飼料穀物を日本に輸出しています。その船積み施設は米国最大といわれており、米国から輸出される穀物の約1割(1,350万トン)を取り扱っています。また、非遺伝子組み換え作物の生産者をCGB社が組織化し、遺伝子組み換え飼料と非遺伝子組み換え飼料を分別流通する体制も整えています。家畜用の配合飼料原料は輸入に依存しており、原料の確保は非常に重要なことなのです。



全農グレインの巨大な保管サイロ

こうした全農子会社の存在を疎ましく思っているのが、カーギルなどの穀物メジャーといわれる会社やモンサントなどの農薬メーカーです。もし、全農子会社を買収することができれば、穀物メジャーは日本への飼料輸出に対する影響力を高めることができます。

しかし、カーギルやモンサントは全農の子会社を簡単には買収できません。それは親会社が全農という協同組合であり、企業が資本の論理で全農を買収することは1人1票制のもとではほぼ不可能だからです。逆に考えると全農が株式会社になれば買収ができるということになります。

昨年11月、規制改革会議は全農の生産資材事業を株式会社に譲渡・売却すべきといった提言を出しました。その意図がどこにあるのか、もはや言うまでもないでしょう。全農の問題は対岸の火事ではありません。その影響はJAや組合員にじわじわと押し寄せてくるのです。

岩見沢税務署からのお知らせ

(平成29年分 所得税及び復興特別所得税、消費税及び地方消費税並びに贈与税の申告と納税)

○申告書は自分で書いてお早めに

平成29年分の確定申告(所得税及び復興特別所得税及び地方消費税並びに贈与税)が平成30年2月16日(金)から受け付けが始めります。

税務署等の確定申告会場にお越しの際には、「前年の申告書控え」、確定申告に必要な書類及び印鑑をご持参ください。確定申告書にマイナンバーの記入欄が設けられましたので、納税者のマイナンバー以外に、控除対象配偶者や扶養親族、事業専従者のマイナンバーも記載が必要です。また、確定申告書を税務署に提出する際には、法律に基づく本人確認のため、納税者のマイナンバーカード(個人番号カード)等の写が必要となります。

税務署の閉庁日(土・日曜日、祝日)は、税務署での確定申告の受付は行っていませんので、ご注意ください。

○申告及び納付期限

- ・申告所得税 平成30年2月16日(金)～3月15日(木)
- ・消費税 平成30年2月16日(金)～4月2日(月)
- ・贈与税 平成30年2月1日(木)～3月15日(木)

○申告会場・受付時間

- ・申告会場 岩見沢税務署(〒068-0002 岩見沢市2条東4丁目5番地1)
- ・受付時間 午前9時から午後5時まで
- ・相談受付 所得税確定申告期間の午前9時から午後4時まで

JAグループ通信

No.19

JAグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。
 JA北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、
 組合員の皆様に定期的にお伝えします。
 各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。



JAによる事例発表の様子↑

JA北海道中央会



昨年11月21日に札幌市で開催した「JA北海道大会実践フォーラム」では、JA北海道大会（平成27年開催）の決議事項の実践機運を高めること等を目的に、「新規担い手倍増」と「道民と食と農でつながるサポートー550万人づくりと准組合員制度」をテーマに取り上げ、JAの実践事例発表とパネルディスカッションにより、「担い手受け入れへの地域合意形成」と「准組合員との関係強化」の大切さなどを再認識する場となりました。

昨年11月21日に札幌市で開催した「JA北海道大会実践フォーラム」では、JA北海道大会（平成27年開催）の決議事項の実践機運を高めること等を目的に、「新規担い手倍増」と「道民と食と農でつながるサポートー550万人づくりと准組合員制度」をテーマに取り上げ、JAの実践事例発表とパネルディスカッションにより、「担い手受け入れへの地域合意形成」と「准組合員との関係強化」の大切さなどを再認識する場となりました。

JA北海道信連



昨年11月に「食」と「農」をテーマに開催された「北海道アグリ・フードプロジェクト」に参加しました。

当日は、キャンペーンチラシの配布などでJAバンク北海道や「ドドーン貯金キャンペーン」等のPRを行ったほか、口座開設を予約された方に「ちよりスマート」をプレゼントしました。今後も積極的にイベント等へ参加し、JAバンクのPRを通じて、サポートーづくりに取組んで参ります。



ホクレン



道産牛乳・乳製品の消費拡大を目的に酪農家の抛出金で継続的に実施している「ミルクランド北海道」事業の一環として、東京都武蔵野市吉祥寺の商業施設「コピス吉祥寺」に期間限定ショップ「MILK LAND HOKKAIDO→TOKYO O」（平成29年11月15日～平成30年3月25日）を開催し、北海道酪農を広くPRしております。会場では北海道の酪農家が実際に訪れ、来場者と交流するイベントも毎月開催しています。



JA北海道厚生連



2月5日から12日まで開催される「第69回さっぽろ雪まつり」7丁目会場にて、平成29年度JA共済全道小・中学生交通安全ポスターコンクールの入賞作品65点を展示します。

JAとJA共済連北海道は、交通ルールの大切さや交通安全に対する願いが描かれた小・中学生の皆さん的作品を通して、交通事故防止の意識づくりにつなげたいと考えています。



昨年の会場の様子↑

JA共済連北海道



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るために、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報をお伝えしております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。